

# 新潟民商

新潟民主商工会  
新潟市沼垂西3丁目  
電話 (243) 0141

21年10月18日

## 10月も5日間で5名が入会！「民商に相談してみたら」の一声運動を広げよう

### 「入って良かった民商」紹介の輪広がる

民商は9月に引き続き10月も入会が相次ぎ、最初の5日間で5名の方々が入会しています。

**料飲支部**では持続化補助金の獲得を目指してスキルアップセミナーにも参加したTさん（飲食業）が入会。これから事業展開に悩み、知り合いの業者に相談したところ「民商に相談してみたら？」と言われ、入会となりました。Tさんは早速、自分の知り合いにも民商に入会してもらおうと声を掛けています。



**石山支部**では元会員のSさん（サービス業）が入会。事業継続支援金などの申請方法などに悩んでいたSさんは、昔からの知人の伊藤隆前副会長に相談。伊藤さんから「また民商に入って一緒にやろうや」と励まされて入会となり、申請も無事終了することができました。

また**寺尾支部**では突然の税務調査に悩んでいたAさんが入会。Aさんは魚沼の知人から民商を紹介されました。**万代支部**でも仕事仲間の紹介で事務所に訪れた方が自主記帳の要求で入会。**木戸支部**では労働保険加入の要求で元請に相談し民商を紹介された方が入会しています。

新型ウイルス感染症やウッドショック、原油の高騰などに関わる原材料の爆上がりなど、要求は渦巻いています。

「民商に相談してみたら？」の一声が相手のピンチを救う一声となります。知り合いの業者に一声かける運動を隅々まで広げましょう！



### 日程

- ・ 拡大統一行動週間 10月18日～24日
- ・ 拡大経験交流会 10月24日
- ・ 第4回常任理事会 10月29日

### 新新潟民商第3回常任理事会を開催

新新潟民商では10月5日に第3回常任理事会を開催し、26名が参加しました。

開会に先立ち野上会長は「自民党の新総裁が選ばれたが中身は何も変わっていない。感染症対策やインボイス廃止を目指す上で全会員との対話が重要。これを具体化するための討議をお願いしたい」と挨拶。討議資料の説明が一通り行われた後、全体での経験交流が行われました。

「支部で初めて相談会に取り組んだ。相談会には19名が参加して自信となった。また相談会を案内するチラシを見ての問い合わせも多いので、引き続き伝えていきたい」（料飲支部）、「支部



独自に要望書を作成。これから会内外問わず飲食業者の訪問で記入してもらい、新潟市に届けようと話し合っている」（駅前支部）など相談会や宣伝行動に取り組み様子が交流されました。

また全会員訪問で一人ひとりの会員の声を聞きながら集まりのヒントにすること。その訪問でインボイス制度の危険性を伝えていくことや仲間増やしの運動への参加を訴えていくことが確認されました。

### 10/31投票日の衆院選インボイス廃止の選挙に

10/31 投票で衆議院選挙が行われます。民商も参加する市民連合@新潟は国政野党4党（日本共産党、立憲民主党など）と政策協定を結びました。

今回の衆院選挙は感染症対策を充実させる選挙となる事はもちろん、消費税減税・インボイスを廃止させるための選挙です。

政権交代を勝ち取り要求を実現するために、みんなで奮闘しましょう



## 「こんな小さい店で対応できるか！」 訪問対話で怒りの声続出―木戸支部―

木戸支部では5日、全会員にインボイス制度を知らせるため、婦人部理事の遠藤春恵さんを先頭に会員訪問を行いました。



訪問先の飲食店の会員は、「店舗内をしっかりと感染症対策しているが、ワクチン接種済と未接種のお客の席を分けることをテレビの報道で見た。小さい店だからそんなことになるかと対応できるか」と話し、インボイスのパンフレットを渡し説明すると「それは知っている。小規模の事業所に負担をかける制度」と政府に対し怒りをあらわにしていました。

またスーパーやドラッグストアなどが立ち並ぶ地域で高齢者のために野菜や惣菜など売る小売店の店主は「インボイス制度はよく分からないけど今の状況を変えるには選挙しかないよね」とのこと。他の訪問先でも現在の政府に対する怒りが出されました。

## 取引先への対応に不安の声が続出 消費税・インボイス学習会―松浜支部―

10月4日に松浜支部は消費税・インボイス学習会を開催し、4名が参加しました。

始めに中村勉支部長が「インボイス制度は一度や二度聞いただけで理解するのはむずかしい。自分も何度も聞いて少しは分かってきたが、細かい説明までは出来ない。せっかく学習会に来たのだからわからない事は遠慮なく聞いて学習して欲しい」と挨拶。

学習会は「消費税とはどんな税金か、インボイス制度の仕組みと経過措置、消費税の計算の仕組み」といった内容で進めました。

説明を聞いて参加者からは「昔からお世話になっていている業者や商店にインボイスの発行を求めることはできない。消費税の増額分は自分たちで被るしかない」「帳簿が煩雑になる。こんな制度は無くなってほしい」など制度に対する不安と怒りの声が上がりました。選挙の結果次第では消費税率が単一になり、この制度の根拠が無くなることを聞くと「外注にインボイスの事と同時に選挙の話もする」と選挙への期待の声が聞かれました。



## 危険なインボイス制度を周りに伝えよう 定例化した記帳会で議論―女池支部―

女池支部で定例化された記帳会。今月8日も5名の参加で行なわれました。

島田支部長、和合婦人部長が様子を見る中、勘定科目や仕訳の振替の組合せなどを確認。持参した領収書などの伝票類を実際にパソコンへ入力しました。また美容業を営む渡辺さんは、消費税の簡易課税を見据えてサービ入業と小売業の区分経理を実践してみました。

島田支部長からは「インボイス制度は消費税の課税業者・非課税業者に関わらず、中小業者の税負担・事務負担が増える。しかも免税事業者が取引排除される恐れさえある。制度を周りに伝えながら参加者を募り、引き続き学習会を継続していこう」と、納税者の権利と自主申告の重要性などを訴えていました。



## 婦人部からのお願い 学生への支援に協力を！

新型コロナウイルス感染症の影響で学生の生活が非常に困難な状況になっています。婦人部では、大変な状況の学生を助けたいと食糧支援に取り組むこととなりました。以下のようなものがご自宅にありましたら婦人部までご連絡ください。

コメ、カップ麺、レトルト食品、(食品は賞味期限内のものをお願いします。)ノート、食器、洗剤などの生活用品

## 母親大会物資在庫

【しいたけ 1,400円】	33個
【スープ 865円】	6個
【クラムチャウダー】	
【万能茶 600円】	19個
【黒ゴマ 800円】	9個

ワケあり